

平成十八年三月二十六日、晴れて「江戸ソバリ工倶楽部」が発  
足いたしました。

これも偏に会員の皆様のご支援の賜と厚く感謝いたしますと  
共に、今後の当倶楽部の運営の責任を痛感いたしております。  
役員一同、皆様のご期待に少しでも応えられますよう頑張ります  
ので、今後とも温かいご支援をお願い申し上げます。

### ▼設立総会報告

平成十八年三月二十六日(日)午後一時三十分～二時 設立総  
会を開催致しました。二月八日現在の会員数二百三十七名で出  
席者百一名委任状八十四名合計百八十五名となり本総会は有効  
に成立しました。そして四件の議案が承認されました。

(議案1) 江戸ソバリ工倶楽部会則制定の件

(正式な会則を同封いたします)

(議案2) 役員選出の件

(会長) 田島房市

(副会長) 山田義基・脇坂英樹

(事務局長) 前島敏正

(幹事) 助啓・天野佳子・石垣佳之・小川有三・小野川良次・

加藤正和・金井政弘・川俣静・嶋田知栄美・高島陽一・瀧

上健明・古津昇・松本一夫・松本政憲・室橋正太郎・横田

元育

(監査委員) 小林照男・畑貞則

☆顧問は次の方々には就任頂きました。

・稲澤敏行 (イナサワ商店社長)

・鶴飼良平 (上野藪そば店主)

・小高登志 (神田まつや店主)

・藤村和夫 (元有楽町更科店主)

・堀田康彦 (かんだやぶそば店主)

(議案3) 初年度活動計画承認の件

(イ) 江戸ソバリ工認定事業実行委員会との連携

(ロ) 情報提供・連絡基盤の整備

(ハ) 商業主義の排除

の三点を活動の基本方針として、「講演会」「食べ歩き」「蕎  
麦打ち」の三つのテーマを中心に、具体的な行事の開催と情  
報提供を計画、実施していく方針です。

(議案4) 初年度予算承認の件

(収入、支出の詳細は下段右の表のとおりです)。

以上四項目が議決事項です。

尚、設立総会の冒頭、田島房市発起人代表が開会の挨拶を致  
しました。また、議案承認の後、来賓を代表し、三上卓治様よ  
りご祝辞を頂戴しました。

その後、二時十分～三時十分迄、写真家の片山虎之助様の講  
演会を開催しました。中国のダットン蕎麦や日本各地の在来種

の蕎麦栽培のお話を中心にスライドを使用して熱の入った講演  
で盛況の内に終了致しました。片山様に厚く御礼を申し上げます。

平成 18 年度予算 (H17.12.26~H19.3.31) (円)

収入		支出	
入会金 (3,000 円 ×237 名)	711,000	設立準備費	123,090
年会費 (1,000 円 ×237 名)	237,000	会員募集費	80,000
		会報作成費用	100,000
		行事案内費用	50,000
		会議費	30,000
		事務費	20,000
		予備費	30,000
計	948,000	計	433,090
		次年度繰越金	514,910

次いで、三時十五分～四時迄懇親会を開催しました。懇親会  
では、ご出席頂いた稲澤様・藤村様・堀田様よりご挨拶を戴き  
ました。

### ▼アンケート結果報告

入会申込み時に皆様から頂戴したアンケート集計結果で圧倒的  
に多かった「参加したい企画」の上位四位までは次の通りです。  
この結果は、今年度の活動計画に役立てたいと考えております。

- 一位 蕎麦に関する講演会 一四五件
- 二位 蕎麦の食べ歩き 一二九件
- 三位 蕎麦打ち教室 一二〇件
- 四位 蕎麦に関する史跡探訪 一〇〇件

### ★会員募集中の同好会を紹介致します。

▽会津和田蕎麦打ち名人道場 会津そば処和田社長を代表とし、  
100%の手打ちを楽しむ。蕎麦作りから新そば会席など酒と  
そばで親睦を深める。 戸田浩司 Tel.090-5401-1024

▽石臼の会 当会は中央線・小田急線を中心に都内各区・茨城  
県・埼玉県、神奈川県等の方々から構成されており、現在会員  
数は男性31名、女性11名、合計42名です。蕎麦打ち会の  
開催・蕎麦屋落語を楽しむ会・蕎麦屋巡りを楽しむと同時に蕎麦  
前酒を楽しむながら蕪蕎麦・親睦を図っている。 事務局長 高島  
陽一 E-mail:highland@parkcity.ne.jp

▽江戸ソバリエ28会 二期生を中心に現在10名のメンバー（女性3名、男性7名）で老若男女三ヶ月ごとの食べ歩き会を実施しております。Fax 03-5378-5037（事務局：西川）

▽千葉手打そばの会 会というよりそば教室という感じです。特に募集しているわけではありませんが枠があれば入れます。〒284-0005 四街道市四街道 1-12-18 瀧上健明（よしあき）Tel 043-422-2812 携帯 090-5280-9944

▽あなたのそばが大好き会 群馬県沼田市郊外に世田谷区の健康村があり、そこで毎年「手作りそばの会」が催され、蕎麦の種蒔きから、収穫・脱穀・そして最後にはその粉で手打そばを作って食べる会がある。その会の経験者が中心になって、家族ぐるみで、千歳鳥山で蕎麦打ちの研鑽をしております。未経験者の入会可。〒136-0071 江東区亀戸 7-67-2707 蕎麦用 宇内慎一郎 Tel/Fax 03-5609-2126 携帯 090-3593-3317 E-Mail: sobayonin.udar@nifty.com

▽うすらの会 何の規約も、制約もなく、一、二ヶ月に一度集まって蕎麦を食するだけの会です。ご家族や友人、知人大歓迎。〒130-0014 墨田区亀沢 1-3-11-401 伊嶋みのる Tel/Fax 03-5608-3376

▽江戸川ソバリエ会 江戸川区近辺にお住まいの江戸ソバリエの方々の会。例会は食べ歩き蕎麦打ちなど。年会費千円。〒132-0014 江戸川区東瑞江 1-52-4 小池晃 Tel 03-3677-5934 E-Mail: ed0325725@edogawa.home.ne.jp

▽蕎麦打ち会 江戸ソバリエであればどなたでも参加OK。本格的な蕎麦打ちをします。年会費なし。毎回参加者の受益者負担で、一回約2,500〜3,000円。初めての方もヘテランも歓迎。連絡先は江戸川ソバリエ会と同じ。

▽手打そば保存会 設立平成8年、現在会員数56名。蕎麦打ち名人を育成する場ではなく、そばを愛するものを集い、粉と遊び粉を語る、豊かな人生を楽しむ「そばサロン」です。（ソバリエ6名）  
代表者 田代哲夫 Tel 03-3951-1908

▽熊谷蕎麦打ち愛好会 蕎麦打ち技術の向上及び研究を通して会員相互の親睦を。幹事 八木君敏 Tel/Fax 048-524-6250

### ◇ 田島房市長 挨拶

この度、会長に就任いたしました田島房市です。江戸ソバリエ認定事業実行委員会及び会員の皆様のご支援をいただき、無事江戸ソバリエ倶楽部がスタート出来ました事を心より御礼申し上げます。又、顧問に就任頂きました諸兄には、今後とも当

倶楽部を末永くご支援いただきますようお願い申し上げます。これからは、会員の皆様と共に楽しく有意義な倶楽部の運営をはかってゆきたいと思っております。役員一同も熱意に燃えており、皆様のご期待に少しでも応えればと願っております。初年度であり、五里霧中の船出となりますが、私も精一杯頑張っており、五里霧中の船出となりますが、私も精一杯頑張っており、五里霧中の船出となりますが、私も精一杯頑張っており、五里霧中の船出となりますが、私も精一杯頑張っております。よろしくお願い申し上げます。

### ◇ 江戸ソバリエ認定事業実行委員会

#### 委員長 三上卓治氏のご祝辞

「さらなる江戸蕎麦の通人を目指そう」  
江戸ソバリエ倶楽部の発足おめでとうございます。平成十五年度から、江戸ソバリエ認定事業実行委員会が開講してきました認定講座もお蔭様で大変好評を博し、三年間の受講者は千人を超え、江戸ソバリエの認定証を手にした方は八百人にも上ります。

また、各位におかれましては、その後も益々江戸蕎麦の通人の道を歩まれておられるご様子うかがい、当委員会としても実に嬉しく思っております。

そこで私達委員は、僅かな受講期間ではありましたが、縁があつて一緒に受講され、認定を受けられた江戸ソバリエの皆様方、同窓会のような組織が出来ないものかと話し合いました。その上で、特に活躍しておられると聞いております方々に（都心・埼玉・下町・千葉・都下・神奈川）お声をかけさせて頂きましたところ、快くご賛同いただき、この度の倶楽部発足に至った次第でございます。

会の名前としては、皆様が誇りにされ、また我々委員会がブランドとして財産にしております「江戸ソバリエ」を冠しました。

これまでは各位が通への道を邁進してこられたと思いますが、さらに江戸蕎麦の通人を目指すために、「江戸ソバリエ倶楽部」と実行委員会が共に新たな道を歩んでゆこうではありませんか。

#### ▼当倶楽部への連絡先

郵便 〒100-1245 東京中央郵便局私書箱一二四五号  
江戸ソバリエ倶楽部  
E-Mail: fvg3451@mb.infoweb.ne.jp（事務局 前島）

